

東アジアの国際秩序と古代日本



[東アジアの国際秩序と古代日本_下载链接1](#)

著者:廣瀬憲雄

出版者:吉川弘文館

出版时间:2011-10-18

装帧:

isbn:9784642024853

日本・中国・朝鮮の東アジア地域に、吐(と)蕃(ばん)・契丹(きったん)・回鶻(ウイグル)など北方・西方の勢力まで視野を広げると、いかなる国際秩序がみえてくるのか。日本の対隋唐・新羅・渤海の対外関係を、外交文書（国書）と外交儀礼（賓礼）から分析。名分関係と服属思想の検討から、文書様式の変遷と儀礼の変化を探り、東アジアの多元的な国際秩序に古代日本を位置づける。

作者介绍:

目录:序章

古代東アジア地域対外関係の研究動向一『冊封体制』論・『東アジア世界』論と『東夷の小帝国』論を中心に一／外交文書と国際秩序（書儀と外交文書一古代東アジア地域の外交関係解明のために一／日本の対新羅・渤海名分関係の検討一『書儀』の礼式を参照して一／『東天皇』外交文書と書状一倭国と隋の名分関係一／慰勞詔書・論事勅書の形式とその継受一末尾の定型句を中心に一）／外交儀礼と君臣秩序（古代倭国・日本の外交儀礼と服属思想／宰相・大臣との会見儀礼と天平六年新羅使／倭国・日本の隋使・唐使に対する外交儀礼）／北宋の外交関係と古代日本（唐後半期から北宋の外交儀礼一『対』の制度と関連して一／入宋僧成尋の朝見儀礼について一五代北宋の外交関係と僧侶一）／終章
 唐宋期周辺諸勢力の外交儀礼について一『東夷の小帝国』倭国・日本の位置一
 ・ ・ ・ ・ ・ (收起)

東アジアの国際秩序と古代日本_下载链接1

标签

東亞史

東アジアの国際秩序と古代日本

日本对外交通史

日本史

廣瀨憲雄

東國英華

东亚史

歴史学

评论

断断续续地终于把全书读完了。本书的每一章都可以单独拿出来讨论，合在一起则是对作者提出的“非君臣上下关系”的有力诠释。作者提示了两个切入点，一是外交文书的“书仪”，二是外交礼仪的“程式”。初看作者对书仪的分析，感到很不以为然，觉得其随意性过大，后来发现书仪可以和所谓的“拟制的血缘关系”结合起来考虑，这才觉得作者的视角很新。然而，始终不能理解的是，作者把对外的名分和对内的名分对立起来论证，难道说倭国・日本国内的大臣不知道本国对外关系的实际情况？还有，作者标榜的与中国王朝“君臣思想”、“王化思想”不同的“贡纳・仕奉思想”，其实质究竟和前者有何区别？总体来说，本书给出了许多有趣的解读视角，但真正能解决问题的观点不多，最大的问题在于作者得出的结论本身存在不少自我矛盾之处。

[東アジアの国際秩序と古代日本_下载链接1](#)

书评

[東アジアの国際秩序と古代日本_下载链接1](#)